

- 問1 5パーセントの食塩水において、溶かされている物質である「食塩」、溶かしている液体である「水」、およびそれらが混ざり合った液体全体の名称の組み合わせとして、適切なものはどれですか。 (2016年 広島県公立入試 類似)
1. 食塩は溶液、水は溶媒、全体は溶液である
  2. 食塩は溶質、水は溶媒、全体は溶液である
  3. 食塩は溶質、水は溶液、全体は溶液である
  4. 食塩は溶媒、水は溶質、全体は溶液である
- 問2 食塩25gを水100gにすべて溶かして食塩水を作りました。このとき、できた食塩水の質量パーセント濃度は何%ですか。 (2017年 石川県公立入試 類似)
1. 25%
  2. 20%
  3. 約33.3%
  4. 75%
- 問3 赤ワインを加熱し続けると、温度が上昇していき、約80度付近で温度の上昇が緩やかになって沸騰が始まりました。沸騰している間、ガスバーナーの炎から熱を与え続けているにもかかわらず、温度の上昇が緩やかになるのはなぜですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 液体の温度が80度に達すると、分子が熱を放出する反応に切り替わり、自己冷却を始めるから
  2. 加熱によって分子の熱運動が停止し、エネルギーが物質内部に保存されるようになるから
  3. 沸騰によって発生した気体の分子が、周囲の熱をすべて吸収して消滅させてしまうから
  4. 与えられた熱エネルギーが、液体の分子が互いに引き合う力を断ち切り、状態を変化させるために使われるから
- 問4 80℃の水100gが入ったビーカーに塩化ナトリウムを加えてよくかき混ぜ、これ以上溶けることができない「飽和水溶液」を作った。80℃における塩化ナトリウムの溶解度が38.0gであるとき、この飽和水溶液の質量パーセント濃度として最も適切な数値はどれか。なお、数値は小数第2位を四捨五入して答えなさい。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
1. 38.0%
  2. 72.5%
  3. 27.5%
  4. 62.0%
- 問5 BTB溶液を入れた容器にある気体を通したところ、溶液の色が青色に変化しました。このとき、気体が水に溶けてできた水溶液が示している性質として、最も適切なものを選択してください。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 中性
  2. どちらの性質も示さない
  3. アルカリ性
  4. 酸性
- 問6 砂糖やでんぷんのように、共通して「炭素」を成分として含んでおり、燃やすと二酸化炭素を発生させる物質のことを総称して何と呼びますか。 (2018年 石川県公立入試 類似)
1. 無機物
  2. 純粋な物質
  3. 有機物
  4. 金属
- 問7 ガスバーナーに点火したところ、炎の色が赤黄色で、ゆらゆらと揺れていた。この炎を、すすの出ない安定した高温の青色の炎にするための操作として、最も適切なものはどれか。 (2201年 滋賀県公立入試 類似)
1. 空気調節ねじを完全に締め切り、ガス調節ねじだけで炎の大きさを調節する。
  2. 上の空気調節ねじを固定したまま、下のガス調節ねじを回してガスの量を増やす。
  3. ガス調節ねじと空気調節ねじを同時に回し、ガスの量と空気の量を同時に増やす。
  4. 下のガス調節ねじを固定したまま、上の空気調節ねじを回して空気を送り込む。
- 問8 物質が水に溶けて透明な水溶液になったとき、溶液中の溶質の粒子の様子として最も適切なものはどれか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 溶質の粒子は非常に小さくなり、液全体に均一に広がって、時間が経っても沈殿しない。
  2. 溶質の粒子は水溶液の上部に集まる性質があるため、上の方ほど濃度が高くなる。
  3. 溶質の粒子は目に見える大きさのまま液中に分散しており、時間が経つと重力で底に沈む。
  4. 溶質の粒子は液の中央付近に集まり、容器の壁面付近には存在しなくなる。
- 問9 粉末状の鉄、ポリエチレン、食塩の3種類を混ぜ合わせたものに水を加えてよくかき混ぜた後、ろ紙を用いて分離する操作を行った。このとき、ろ紙の上に残る物質の組み合わせとして最も適切なものはどれか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 鉄とポリエチレン
  2. 鉄のみ
  3. ポリエチレンと食塩
  4. 鉄と食塩
- 問10 密度1.06g/cm<sup>3</sup>のプラスチックAを、密度1.00g/cm<sup>3</sup>の水と、密度1.19g/cm<sup>3</sup>の飽和食塩水にそれぞれ入れたときの結果について、正しく説明しているものを選びなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
1. どちらの液体でも浮く
  2. 水では沈み、飽和食塩水では浮く
  3. どちらの液体でも沈む
  4. 水では浮き、飽和食塩水では沈む
- 問11 アンモニアの噴水実験において、水槽の水に数滴のフェノールフタレイン溶液を加えておいた場合、フラスコ内に噴き上がった直後の液体の色と、その理由の組み合わせについて正しく述べているものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. アンモニアが水に溶けて酸性を示すため、赤色（または赤紫色）に変わる
  2. アンモニアが水に溶けてアルカリ性を示すため、青色に変わる
  3. アンモニアが水に溶けて中性を示すため、無色透明のままである
  4. アンモニアが水に溶けてアルカリ性を示すため、赤色（または赤紫色）に変わる
- 問12 40℃から10℃へと水溶液の温度を下げたとき、硝酸カリウムのビーカーでは結晶が発生したのに対し、塩化ナトリウムのビーカーでは結晶が発生しなかった理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 硝酸カリウムは、温度が低くなるほど100gの水に溶けることができる物質の最大量が大きく減少する性質を持っているから。
  2. 温度を下げると、硝酸カリウムの溶解度は大きくなり、塩化ナトリウムの溶解度は変化しないから。
  3. 水溶液を冷やすと、水そのものが蒸発してしまい、硝酸カリウムだけが溶けきれずに残ってしまうから。
  4. 塩化ナトリウムは、温度が低くなるほど100gの水に溶けることができる物質の最大量が大きく減少する性質を持っているから。
- 問13 砂糖、かたくり粉、重曹の3種類の白い粉末を用意し、それぞれを加熱する実験を行いました。このうち、有機物である砂糖やかたくり粉を空气中で強く加熱したときに共通してみられる変化として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 白く固まる
  2. 見た目の変化なし
  3. 黒くこげる
  4. 青色に変化する
- 問14 化学実験において、水溶液の性質を調べる際に器具の洗浄に水道水ではなく「蒸留水」が推奨される理由として、最も適切な説明はどれか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 蒸留水は水道水に比べて比熱が小さく、溶液の温度変化を正確に測定するのに適しているから。
  2. 水道水は中性ではないため、水溶液の酸性やアルカリ性の度合いを変化させてしまうから。
  3. 水道水には消毒用の塩素やミネラルなどの不純物が含まれており、実験結果に影響を及ぼす可能性があるから。
  4. 蒸留水には空気中の酸素が溶け込んでいないため、薬品の酸化を防ぐことができるから。

- 問1 ある気体の性質を調べたところ、「特有の刺激臭がある」「空気よりも密度が小さく軽い」「水に非常に溶けやすい」という特徴が見られました。この気体の名称として適切なものを選びなさい。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 水素                                      2. 塩素                                      3. 二酸化炭素                                      4. アンモニア
- 
- 問2 有機物を燃焼させた際に発生する無色の気体であり、石灰水に通すと白く濁る性質を持つ物質の名称として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 京都府公立入試 類似)
1. 酸素                                      2. 窒素                                      3. 水素                                      4. 二酸化炭素
- 
- 問3 ある物質は、100gの水に対して60℃のときには15gまで、20℃のときには5gまで溶けることがわかっています。60℃の水100gにこの物質を15g溶かして飽和水溶液をつくり、これを20℃まで冷却したとき、取り出すことができる結晶は何gですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 5g                                      2. 15g                                      3. 20g                                      4. 10g
- 
- 問4 物質が液体から気体に変化する温度を沸点といいます。窒素の沸点として適切な温度を、次のうちから選びなさい。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. マイナス196度                                      2. マイナス183度                                      3. 0度                                      4. マイナス78度
- 
- 問5 20℃の蒸留水100gに対する溶解度が9.6gである物質を、20℃の蒸留水5gに0.8g加える実験を行いました。この実験における観察結果とその理由について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 溶ける限界の質量を超えて加えているため、物質の一部が溶け残り、飽和水溶液になる。                                      2. 水の質量が非常に少ないため、物質は全く溶けずにそのままの質量で底に沈む。                                      3. 溶け残りが出るが、これは水の質量に関わらず溶解度が一定であるために起こる現象である。                                      4. 加えた物質の質量が1gに満たないため、すべて溶けて透明な水溶液になる。
- 
- 問6 枝つきフラスコに赤ワインを入れてガスバーナーで加熱し、出てきた蒸気をガラス管に通して冷水に浸した試験管で冷やして液体を集める実験を行いました。加熱によって温度が上がり、沸騰が始まる際、フラスコ内の液体の分子にはどのような変化が起きていると考えられますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 熱運動がより激しくなり、分子どうしの引き合う力を振り切って分子が空間へ飛び出し始める                                      2. 熱エネルギーが蓄積されることで分子が膨張し、分子一つ一つの体積が大きくなる                                      3. 加熱されることで分子の熱運動が次第に緩やかになり、特定の場所に留まるようになる                                      4. 液体の温度が上がるにつれて分子が規則正しく並び始め、蒸気となってまとまって移動する
- 
- 問7 物質の「液体の状態」と「固体の状態」を比較したとき、粒子がより自由に動き回っており、粒子どうしの並び方が不規則である状態はどちらですか。また、その粒子の運動の状態について正しく説明しているものを選びなさい。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 固体の状態であり、粒子は規則正しく並び、互いの位置を激しく入れ替えている。                                      2. 液体の状態であり、粒子は決まった位置でわずかに振動している。                                      3. 液体の状態であり、粒子は位置を入れ替えながら自由に動いている。                                      4. 固体の状態であり、粒子は非常に大きなエネルギーを持って空間を飛び回っている。
- 
- 問8 35%の濃塩酸を水でうすめて3%の希塩酸を350g作成する際、実験の手順や計算の考え方として適切な説明を選びなさい。 (2016年 埼玉県公立入試 類似)
1. 溶質である塩化水素の質量を一定に保つため、必要な濃塩酸を量り取り、そこに水を加えて全体の質量を350gにする。                                      2. 35%から3%へ濃度を1/10以下にするため、濃塩酸35gに対して水350gを加えて混合する。                                      3. 溶液の体積が合計350mLになるように、メスシリンダーで濃塩酸と水を同量ずつ混ぜ合わせる。                                      4. 溶媒である水の質量を3gにするため、濃塩酸350gを加熱して水分を蒸発させる。
- 
- 問9 液体を加熱して沸騰させ、発生した気体を冷却することによって再び液体にして集め、混合物から純粋な物質を取り出す操作を何といいますか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 再結晶                                      2. 蒸留                                      3. 昇華                                      4. ろ過
- 
- 問10 砂糖やエタノールなどの有機物を空気中で燃焼させたとき、水蒸気とともに共通して発生する気体があります。この気体は、有機物に含まれる炭素が酸素と結びつくことで発生しますが、この気体を表す化学式として適切なものはどれですか。 (2020年 山口県公立入試 類似)
1. CO<sub>2</sub>                                      2. H<sub>2</sub>                                      3. N<sub>2</sub>                                      4. O<sub>2</sub>
- 
- 問11 ある白い粉末を試験管に入れて加熱したところ、粉末は黒くこげ、発生した気体を石灰水に通すと白くにごりました。この実験結果から判断できる内容として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 長野県公立入試 類似)
1. この粉末は石灰石であり、加熱によって酸素が発生した。                                      2. この粉末は無機物であり、加熱によって水蒸気が発生した。                                      3. この粉末は金属の一種であり、加熱によって酸化物へと変化した。                                      4. この粉末は炭素をふくむ有機物であり、燃焼によって二酸化炭素が発生した。
- 
- 問12 質量パーセント濃度が10パーセントである物質Bの水溶液200gを準備しました。この水溶液に含まれる溶質と溶媒の質量の組み合わせとして適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 溶質：20g、溶媒：200g                                      2. 溶質：10g、溶媒：190g                                      3. 溶質：20g、溶媒：180g                                      4. 溶質：180g、溶媒：20g
- 
- 問13 物質Aの溶解度は、20℃で32g、40℃で64gです。物質Bの溶解度は、20℃で35g、40℃で36gです。この2種類の物質について、飽和水溶液の質量パーセント濃度が等しくなる温度について考察した文として、適切なものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. どのような温度においても、物質Aと物質Bの濃度が等しくなることはない                                      2. 20℃よりも低い温度のどこかで、濃度が等しくなる点が存在する                                      3. 20℃と40℃の間のどこかの温度で、濃度が等しくなる点が存在する                                      4. 40℃よりも高い温度のどこかで、濃度が等しくなる点が存在する
- 
- 問14 石油などを原料として人工的に合成された物質で、加熱や圧力を加えることでさまざまな形に成形加工することが容易な有機物の総称を何といいますか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. セラミックス                                      2. プラスチック                                      3. ガラス                                      4. 合金

- 問1 液体に他の物質が溶けて全体が均一になった液体を溶液といいます。このとき、溶けている物質を何と呼びますか。また、溶液全体の質量に対する溶けている物質の質量の割合を百分率で表した名称とあわせて、正しい組み合わせを選びなさい。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 溶けている物質を溶液、割合の名称を密度という      2. 溶けている物質を溶質、割合の名称を溶解度という      3. 溶けている物質を溶質、割合の名称を質量パーセント濃度という      4. 溶けている物質を溶媒、割合の名称を質量パーセント濃度という
- 問2 物質が溶媒に溶けている状態から、結晶を析出させるための操作とその原理について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 福井県公立入試 類似)
1. 静置することによって溶質と溶媒を重さの差で分離し、固体として沈殿させる。      2. 冷却によって溶媒の質量を減少させ、溶けきれなくなった溶質を固体にする。      3. 冷却によって溶解度を小さくし、もともと溶けていた量と溶解度との差を固体にする。      4. 加熱によって溶媒を蒸発させ、溶解度を大きくすることで固体を取り出す。
- 問3 70度の水100gに対し、80gの硝酸カリウムを完全に溶かした水溶液を用意しました。硝酸カリウムの溶解度は70度で136g、50度で85gです。この水溶液をゆっくりと50度まで冷却したところ、計算上はすべて溶けきっているはずであるのに、実際には容器の底に少量の固体が析出し始めました。この現象が起きた理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 山梨県公立入試 類似)
1. 水が蒸発したことで水溶液の濃度が下がり、溶質の分子が結合して大きな結晶になりやすくなったため。      2. 加熱や放置によって溶媒である水が蒸発し、溶質を溶かすことができる最大量が減少して飽和状態に達したため。      3. 硝酸カリウムが空気中の二酸化炭素と反応し、水に溶けにくい別の物質へと変化したため。      4. 冷却によって硝酸カリウムの溶解度が増加し、溶媒の中に保持できる溶質の限界量を超えてしまったため。
- 問4 アルミニウム缶と鉄缶を分別する際、磁石を利用して鉄缶だけを取り出すことができます。この実験結果から導き出される考察として、科学的に正しい説明はどれですか。 (2018年 島根県公立入試 類似)
1. 鉄は磁石に引きつけられる性質を持つが、アルミニウムは磁石に引きつけられない。      2. 鉄は密度が大きいので磁石に反応するが、アルミニウムは密度が小さいため反応しない。      3. 鉄は電気を通す性質を持つが、アルミニウムは電気を通さない。      4. 鉄は酸化すると磁性を失うが、アルミニウムは酸化しても磁石に反応するようになる。
- 問5 100gの水が入ったビーカーに、20gの食塩を加えてすべて溶かし、食塩水をつくりました。この食塩水の質量パーセント濃度を求めるための式と、その計算結果の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 式： $100 \div (100 + 20) \times 100$  結果：約83.3%      2. 式： $20 \div (100 + 20) \times 100$  結果：約16.7%      3. 式： $(100 - 20) \div 100 \times 100$  結果：80%      4. 式： $20 \div 100 \times 100$  結果：20%
- 問6 一定量の水に溶ける物質の最大量を表した溶解度曲線において、温度による溶解度の変化が大きい物質を高温の飽和水溶液から冷却し、溶けきれなくなった物質を固体として取り出す操作を何というか、最も適切な名称を選びなさい。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 昇華      2. 蒸留      3. ろ過      4. 再結晶
- 問7 炭酸水素ナトリウムなどの炭酸塩にうすい塩酸を加えたときに発生する、石灰水を白く濁らせる性質を持った無色無臭の気体の名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 水素      2. 酸素      3. 二酸化炭素      4. アンモニア
- 問8 物質の質量と体積の関係を示す密度を利用して、ある溶液に含まれる特定の成分（溶質）の質量を求めるための手順として、最も適切なものはどれか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 溶液の体積を質量で割って密度を算出し、対応する質量パーセント濃度を特定した後、溶液の質量にその濃度を掛ける。      2. 溶液の質量を体積で割って密度を算出し、対応する質量パーセント濃度を特定した後、溶液の質量にその濃度を掛ける。      3. 溶液の質量を体積で割って密度を算出し、対応する質量パーセント濃度を特定した後、溶液の体積にその濃度を掛ける。      4. 溶液の質量と体積を掛けて密度を算出し、対応する質量パーセント濃度を特定した後、溶液の質量にその濃度を掛ける。
- 問9 純粋な固体の物質を加熱し、融点に達して固体から液体へと状態変化が起こっている最中は、外部から熱を加え続けているにもかかわらず、なぜ物質の温度は上昇せずに一定に保たれるのですか。その理由として最も適切なものを選びなさい。 (2014年 山梨県公立入試 類似)
1. 加えられた熱が、すべて物質の状態を変化させるために使われるため      2. 加えられた熱が、すべて物質の温度を上げるために使われるため      3. 状態変化が始まると、物質が周囲に熱を放出するようになるため      4. 状態変化の間は物質の質量が減少し、熱を蓄えることができなくなるため
- 問10 金属のイオンへのなりやすさを比較するために、小さな穴が格子状に並んだ器具を用い、縦の列に硫酸亜鉛、硫酸銅、硫酸マグネシウムの水溶液をそれぞれ入れ、横の列に亜鉛片、銅片、マグネシウム片を配置して反応を観察する実験を行いました。この実験で使用した器具の名称と、それを用いる主な利点を組み合わせたものとして最も適切なものを選びなさい。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. マイクロプレート：一度に大量の反応生成物を得ることができ、実験の測定誤差を最小限に抑えることができる。      2. 試験管立て：多数の試験管を一度に並べることで、発生する熱を効率よく逃がして安全に実験できる。      3. ベトリ皿：金属片が酸化する様子を広い面積で観察でき、試薬を使い切ることで廃液をなくすることができる。      4. マイクロプレート：少量の試薬で多数の実験を同時に行うことができ、廃液を抑えて環境負荷を低減できる。
- 問11 二酸化炭素を発生させ、その性質を調べる実験を行った。二酸化炭素は「空気よりも密度が大きい」という特徴を持つ。この特徴のみを利用して気体を集める方法の名称を選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 水上置換法      2. 下位置換法      3. 蒸留法      4. 上方置換法
- 問12 見た目が非常によく似ている「石灰岩」と「チャート」を区別するために、それぞれの岩石にうすい塩酸をかける実験を行った。このとき観察される現象の説明として適切なものはどれか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 石灰岩からは気体が発生するが、チャートからは発生しない      2. 両方の岩石から激しく気体が発生する      3. チャートからは気体が発生するが、石灰岩からは発生しない      4. どちらの岩石からも気体は発生せず、石灰岩だけが黄色く変色する
- 問13 金属には多くの共通した性質がありますが、すべての金属に当てはまるとは限らない「例外的な性質」はどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. コンセントや電池につないだときに、電流を流す性質。      2. 磁石を近づけたときに、強く引き寄せられる性質。      3. 表面を磨いたときに、光を反射してキラキラと輝く性質。      4. ハンマーなどでたたいたときに、薄い板状に広がる性質。

- 問1 ある液体を加熱したところ、加熱開始からしばらくして温度が約78度で一定になり、液体の中から気体の泡が激しく発生する様子が観察されました。このときの現象の説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- |                                       |                                           |                                                 |                                              |
|---------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 1. 加熱時間が長くなるにつれて、沸騰していても液体の温度は上昇し続ける。 | 2. 液体の量を2倍に増やして実験を行うと、沸騰する温度は約156度まで上昇する。 | 3. 液体が沸騰しており、加えられた熱が状態変化に使われているため、温度が一定に保たれている。 | 4. 火力を強くして加熱すると、沸騰している間の温度は78度よりも高い温度で一定になる。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------|
- 問2 水溶液において、溶けている物質を「溶質」、溶かしている液体を「溶媒」といいます。このとき、溶液全体の質量に対する、溶質が占める質量の割合を百分率で表した名称として正しいものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- |             |       |              |        |
|-------------|-------|--------------|--------|
| 1. 飽和水溶液の質量 | 2. 密度 | 3. 質量パーセント濃度 | 4. 溶解度 |
|-------------|-------|--------------|--------|
- 問3 炭酸水素ナトリウムを加熱して分解し、発生した気体を水上置換法で集める実験を行いました。この実験における観察結果や気体の性質について述べたものとして、適切なものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- |                                             |                                              |                                             |                                         |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1. 加熱によって酸素が発生し、火のついた線香を近づけると線香が炎を上げて激しく燃える | 2. 加熱によってアンモニアが発生し、水にぬらした赤色リトマス紙を近づけると青色に変わる | 3. 加熱によって二酸化炭素が発生し、これを石灰水に通すと不溶性の物質ができて白く濁る | 4. 加熱によって水素が発生し、マッチの火を近づけると音を立てて爆発的に燃える |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|
- 問4 砂糖やデンプンのように炭素を含む物質を加熱して燃焼させたとき、発生した気体を確認する方法とその結果として正しいものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- |                                        |                                    |                             |                                 |
|----------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 発生した気体に青色の塩化コバルト紙をつけると、色が赤（桃）色に変わる。 | 2. 発生した気体に火のついた線香を近づけると、線香が激しく燃える。 | 3. 発生した気体を石灰水に通すと、石灰水が白く濁る。 | 4. 発生した気体にマッチの火を近づけると、音を立てて燃える。 |
|----------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
- 問5 60℃の水100gが入ったビーカーを4つ用意し、それぞれにミョウバンを5g、10g、20g、40g溶かして4種類の水溶液を作りました。これらの水溶液を一定の速さでゆっくりと冷却したとき、最も高い温度で結晶が析出し始めるのはどの条件ですか。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- |                     |                     |                    |                     |
|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 1. ミョウバンを10g溶かした水溶液 | 2. ミョウバンを40g溶かした水溶液 | 3. ミョウバンを5g溶かした水溶液 | 4. ミョウバンを20g溶かした水溶液 |
|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|
- 問6 ガスバーナーの操作において、ガス調節ねじを回してガスを出すよりも先に、マッチの火を点火口付近に近づけておかなければならない理由として、最も適切なものはどれか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
- |                                             |                                         |                                             |                                               |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 1. 先にガスを出すと、周囲にガスが広がり、点火した際に大きな炎が上がって危険だから。 | 2. 先にガスを出すと、ガスの圧力によってマッチの火が吹き消されてしまうから。 | 3. 先にガスを出すと、空気調節ねじからガスが漏れ出してしまい、点火できなくなるから。 | 4. 先にマッチを近づけないと、ガス調節ねじが固くなって回らなくなる構造になっているから。 |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------|
- 問7 溶液の質量に対する溶質の質量の割合を百分率で表したものを何というか。また、この計算において「溶液の質量」が指す内容として適切な説明を選びなさい。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- |                                   |                              |                               |                                    |
|-----------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 1. 溶解度といい、溶媒100gに溶けている溶質の質量のことである | 2. 密度といい、単位体積あたりの質量の合計のことである | 3. 質量パーセント濃度といい、溶媒のみの質量のことである | 4. 質量パーセント濃度といい、溶媒と溶質の質量を合計したものである |
|-----------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
- 問8 試験管に入れた炭酸水を加熱し、ガラス管を通して出てきた気体を別の試験管内の石灰水に通す実験を行いました。この実験の操作と観察結果に関する記述として最も適切なものを選びなさい。 (2015年 山梨県公立入試 類似)
- |                                  |                                      |                                     |                                   |
|----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 加熱を続けると石灰水から気泡が出るが、色は透明なままである | 2. 加熱を続けると石灰水が白く濁り、気体が二酸化炭素であることがわかる | 3. 加熱を続けると石灰水が青色に変化し、気体が酸素であることがわかる | 4. 加熱を続けると石灰水が白く濁り、気体が水素であることがわかる |
|----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
- 問9 純粋な固体の物質を加熱し続け、温度が融点に達した後の変化について述べたものとして、最も適切な説明はどれか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
- |                                 |                                        |                                         |                                                  |
|---------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1. 固体がすべて液体に変化した瞬間に、温度は急激に下降する。 | 2. 融点に達すると同時に加熱をやめなければ、物質はすぐに気体へと変化する。 | 3. 加熱を続けているため、固体から液体に変化している間も温度は上昇し続ける。 | 4. 加えられた熱が状態変化に使われるため、固体がすべて液体に変化するまで温度は一定に保たれる。 |
|---------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------|
- 問10 フェノールフタレイン溶液をある性質を持つ水溶液に加えたとき、溶液の色が赤色に変化しました。このとき、水溶液が示している性質として正しいものはどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- |       |        |          |       |
|-------|--------|----------|-------|
| 1. 酸性 | 2. 還元性 | 3. アルカリ性 | 4. 中性 |
|-------|--------|----------|-------|
- 問11 溶液全体の質量に対する溶質の質量の割合を百分率（％）で表した濃度を何といいますか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- |         |              |              |        |
|---------|--------------|--------------|--------|
| 1. モル濃度 | 2. 質量パーセント濃度 | 3. 体積パーセント濃度 | 4. 溶解度 |
|---------|--------------|--------------|--------|
- 問12 枝付きフラスコに液体を入れてガスバーナーで加熱し、発生した蒸気をガラス管を通して冷水の入ったビーカー内の試験管へ導き、液体を溜める実験を行った。この操作を行う際、混合物を分離できる理由として最も適切なものはどれか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- |                           |                                 |                             |                             |
|---------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 物質ごとに沸点が異なることを利用しているため | 2. 物質ごとに水への溶けやすさが異なることを利用しているため | 3. 物質ごとに密度の違いがあることを利用しているため | 4. 物質の粒子の大きさが異なることを利用しているため |
|---------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
- 問13 メスシリンダーに水を30.0cm<sup>3</sup>入れたあと、あるプラスチックの破片を水の中に完全に沈めたところ、液面の目盛りが34.5cm<sup>3</sup>を示しました。このプラスチックの破片の体積は何cm<sup>3</sup>ですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- |                        |                        |                       |                        |
|------------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 34.5cm <sup>3</sup> | 2. 64.5cm <sup>3</sup> | 3. 4.5cm <sup>3</sup> | 4. 30.0cm <sup>3</sup> |
|------------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|
- 問14 二酸化炭素などの気体が、一定の量の水に溶けることができる最大の量（溶解度）と、水の温度との関係について正しく説明したものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- |                               |                               |                                |                              |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 水の温度が低くなるほど、気体が溶ける量は少なくなる。 | 2. 水の温度が高くなるほど、気体が溶ける量は少なくなる。 | 3. 水の温度が変化しても、気体が溶ける量は常に一定である。 | 4. 水の温度が高くなるほど、気体が溶ける量は多くなる。 |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------|

- 問1 伝統的な蒸留器である「蘭引（らんびき）」は、下部で発生させた蒸気を、冷水が入った上部の器の底面に当てて液体として回収する仕組みを持っています。この仕組みにおいて、上部の器に冷水を入れる理由として最も適切なものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）
1. 上昇してきた蒸気から熱を奪い、温度を下げることで液体に戻すため
  2. 蒸気を一度固体に変化させ、不純物を取り除きやすくするため
  3. 蒸気の勢いを強めることで、液体になる速度を速めるため
  4. 蒸気に含まれる水分を吸収し、純度の高い物質だけを残すため
- 問2 100gの水に対して、硝酸カリウムは100℃で約244g溶けますが、10℃では約22gしか溶けません。一方、塩化ナトリウムは100℃で約39g、10℃で約36g溶けます。これらの物質のうち、高温の飽和水溶液を冷却して結晶を取り出す操作に適している物質とその理由の組み合わせとして、最も適切なものはどれか選びなさい。（2019年 福井県公立入試 類似）
1. 硝酸カリウムは温度による溶解度の変化が大きいため、冷却による再結晶に適している。
  2. 塩化ナトリウムは水に溶ける量が少ないため、どのような方法を用いても再結晶させることはできない。
  3. 塩化ナトリウムは温度による溶解度の変化が小さいため、冷却による再結晶に適している。
  4. 硝酸カリウムは温度による溶解度の変化が大きいため、水を蒸発させる再結晶に適している。
- 問3 20℃における硝酸カリウムの溶解度は水100gあたり31.6gです。硝酸カリウム3.0gをすべて溶かした60℃の水5.0gの水溶液を20℃まで冷却したとき、出てくる固体の質量は何gですか。計算結果の小数第3位を四捨五入して答えなさい。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
1. 1.42g
  2. 28.6g
  3. 14.2g
  4. 1.58g
- 問4 溶解度と温度の関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2014年 佐賀県公立入試 類似）
1. 温度が高くなるほど、すべての物質において溶解度は必ず小さくなる。
  2. 溶解度とは、溶媒100gではなく、溶液100gに溶ける溶質の最大量のことである。
  3. 物質の種類が異なっても、同じ温度であれば溶解度は必ず同じ値になる。
  4. 物質の種類が同じであれば、水の量を2倍にしても溶解度の値は変わらない。
- 問5 水100gに対する物質の溶ける質量を調べると、硝酸カリウムは温度の上昇とともに急激に増加し、塩化ナトリウムは温度が変化してもほとんど変化しないという特徴があります。70℃の水100gにそれぞれの物質を限界まで溶かした後、水溶液の温度を10℃まで下げたとき、観察される結果として正しいものはどれですか。（2025年 大阪府公立入試 類似）
1. どちらの物質も温度を下げて、結晶は全く出てこない
  2. 塩化ナトリウムは大量の結晶が出てくるが、硝酸カリウムはほとんど出てこない
  3. どちらの物質も温度変化に関わらず、同じくらいの量の結晶が出てくる
  4. 硝酸カリウムは大量の結晶が出てくるが、塩化ナトリウムはほとんど出てこない
- 問6 二酸化炭素を水に溶かしたとき、その水溶液が示す性質と水素イオン指数（pH）の関係について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
1. 水素イオン指数（pH）がちょうど7の中性を示す
  2. 水素イオン指数（pH）が7より小さい酸性を示す
  3. 水素イオン指数（pH）が14の強いアルカリ性を示す
  4. 水素イオン指数（pH）が7より大きいアルカリ性を示す
- 問7 デンブンは、加熱すると燃えて二酸化炭素を発生させる。このように、炭素を含み、燃焼によって二酸化炭素を発生させる物質の分類名として適切なものはどれか。（2017年 長野県公立入試 類似）
1. 単体
  2. 無機物
  3. 有機物
  4. 非金属
- 問8 ロウなどの物質が、液体から固体へと状態変化することを何というか。また、一般的に多くの物質において、液体から固体に変化したときの体積の変化として適切なものはどれか。（2026年 山梨県公立入試 類似）
1. 現象を融解といい、体積は増加する
  2. 現象を凝固といい、体積は減少する
  3. 現象を融解といい、体積は減少する
  4. 現象を凝固といい、体積は増加する
- 問9 枝付きフラスコに入れたエタノールと水の混合物をガスバーナーで加熱し、出てきた蒸気をガラス管に通して、氷水で冷やした試験管内で液体として集める蒸留の実験を行いました。この試験管に溜まった液体の中に水が含まれていることを確かめるための操作と、その際に見られる現象の説明として適切なものはどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
1. 青色のリトマス紙を液体につけると、赤色に変わることを確認する
  2. 乾燥させた青色の塩化コバルト紙を液体につけると、赤色に変わることを確認する
  3. pH試験紙を液体につけ、色が変化しないことを確認する
  4. 乾燥させた赤色の塩化コバルト紙を液体につけると、青色に変わることを確認する
- 問10 石灰石とうすい塩酸を反応させて二酸化炭素を発生させる際の、物質の性質や反応に関する説明として、誤っているものを選択してください。（2022年 山形県公立入試 類似）
1. 発生した気体は水に少し溶け、その水溶液は弱い酸性を示す。
  2. 石灰石の主成分は、貝殻や卵の殻と同じ炭酸カルシウムである。
  3. 石灰石とうすい塩酸の反応では、気体のほかに水と塩化カルシウムが生成される。
  4. 発生した気体は空気よりも密度が大きいため、上置換法で集めるのが効率的である。
- 問11 40℃の水100gが入った3つのビーカーに、ショ糖、塩化ナトリウム、硝酸カリウムをそれぞれ同じ質量ずつ溶かしたところ、すべて溶けて透明な液体になりました。その後、これらの液体の温度を20℃まで下げたところ、硝酸カリウムのビーカーにおいてのみ、溶けきれなくなった物質が固体として現れました。この現象が起きた理由として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
1. 硝酸カリウムは、他の2つの物質に比べて温度による溶解度の変化が大きいため
  2. 硝酸カリウムは、温度が下がると溶媒である水の質量を減少させる性質があるため
  3. ショ糖や塩化ナトリウムは、温度が下がると溶解度が急激に大きくなる性質があるため
  4. 20℃における硝酸カリウムの溶解度が、40℃のときよりも大きくなったため
- 問12 ビーカーに入れた液体の物質を冷却して固体に変化させたところ、全体の体積がわずかに減少しました。このとき、物質の質量に変化は見られませんでした。質量が変化しなかった理由として、粒子の観点から最も適切な説明を選びなさい。（2017年 北海道公立入試 類似）
1. 粒子が規則正しく並ぶことで密度が上がり、粒子一粒あたりの重さが増加したため。
  2. 液体が固体に変化する際に、周囲の空気中の粒子がビーカー内に入り込んで質量を補ったため。
  3. 粒子の運動がゆるやかになり、粒子一つひとつが占める体積が小さくなったため。
  4. 粒子どうしの隙間が狭くなって集まり方は変化したけど、物質を構成する粒子の総数が変わっていないため。